

ASFLEX

ポリビニリデンフルオライド 合成非吸収性縫合糸

承認番号：21300BZZ00389000

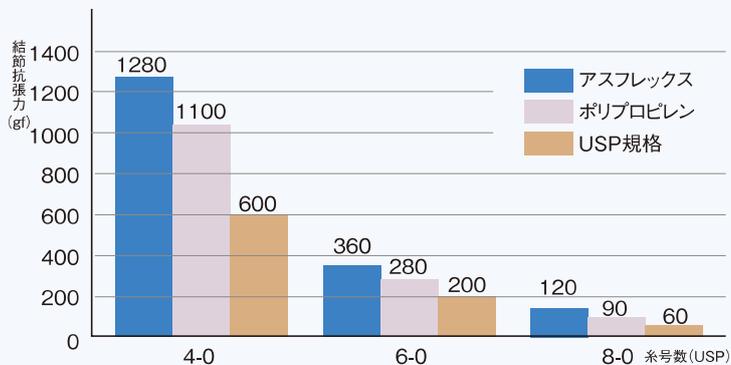
販売名：PVDF 縫合糸-K

- ▶ 国内初の新素材、ポリビニリデンフルオライド(PVDF)を使用した縫合糸です。
- ▶ 生体内での品質の劣化がほとんど無く、長期的な不活性を実現しました。
- ▶ 優れた平滑性で組織通過性が良く、組織損傷を最小限に抑えられます。
- ▶ 血管外科専用特殊針を使用しております。

結節抗張力・張力残存力の高さから、人工血管の手術に最適です。

■ 結節抗張力の高さ

従来の合成非吸収性縫合糸を上回るスムーズな滑り下ろし、適度なコシ。アスフレックスの優れた特性がより確かな操作性を生みます。また、張力劣化が少なく、組織反応も最小限に抑えられます。



■ 不活性

特性	アスフレックス	ポリプロピレン
張力残存率 (in vitro) 3年半ph7.4	最初の張力の93%	最初の張力の77%
張力残存率 (in vitro) 7年	最初の張力の92.5%	最初の張力の53.4%
生体反応 (in vivo) ウサギ4週間	反応なし、 あっても最小限の反応	高度細胞浸潤が見られる

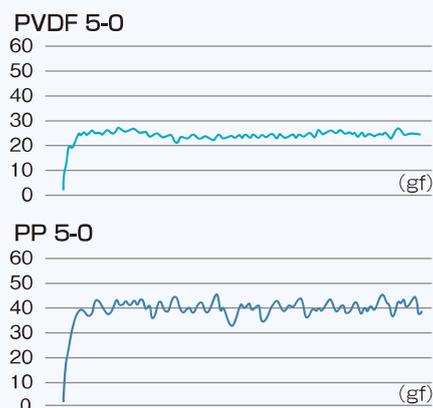
ポリプロピレンに代わる血管用縫合糸としての機能を備えています。

優れた操作性

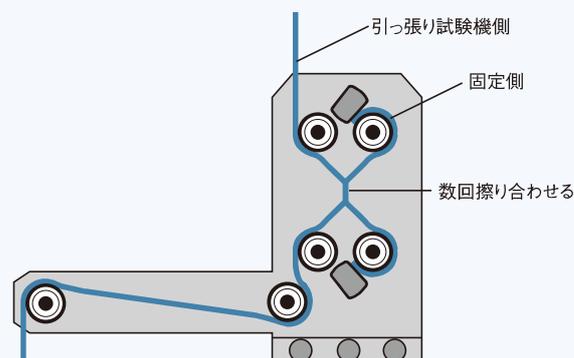
特性	アスフレックス	ポリプロピレン
結び目の滑り下ろし	結び目がスムーズに降りていく	結び目が崩れ、つぶれながら降りる
弾性	適度なコシにより最適な結び目を作る	コシがない
結び目の正確な位置調整	2回結紮後にループの緊張を調整可能	2回結紮後にはループの調整困難

安定した平滑性が実証するクオリティの高さ

PVDF、PPの平滑性データ



PVDF、PPの平滑性測定器



デリケートな操作性が求められる心臓血管外科領域において、縫合糸の平滑性は重要なポイント。アスフレックスは、その安定した平滑性によって、くるいのない操作を導き、組織の損傷を防ぎます。

心臓血管外科用特殊針

- 最適のテーパレシオと特殊研磨、そして特殊コーティング。先進の技術が、刺通抵抗を抑え連続縫合の際にも優れた切れ味を持続します。
- ボディ部は、安定感とコシの強さを実現する特殊な形状に加工し今までになかったなめらかな操作性を発揮します。
- 針と糸の接合部は、レーザードリル穴の採用で段差を無くしました。その優れた組織貫通性が、刺激を最小限に抑え組織損傷を防ぎます。

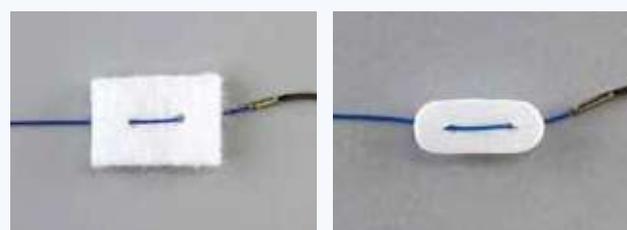
PRJタイプ



STQタイプ



症例内容に応じ、特注セットをご用意しております



フェルトプレジェット付

EPTFEプレジェット付

※詳しくは、担当者へお問い合わせ下さい。